

2017年3月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大阪店	+10.6	+9.7	立川店	△0.1
堺店	+0.5		大宮店	△1.5
京都店	+0.7		柏店	+6.3
泉北店	△6.0		(株)高島屋単体 13店舗	+2.8
日本橋店	+2.6		岡山高島屋	+2.1
横浜店	△0.1	△0.9	岐阜高島屋	△4.9
港南台店	△14.0		米子高島屋	△8.9
新宿店	+3.1		高崎高島屋	+1.1
玉川店	△0.6		(株)高島屋単体 および 国内百貨店子会社 17店舗	+2.4

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

※横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

■ 概況

○3月度の店頭売上は、円安や株高の影響により免税や高額品売上が好調に推移したほか、新たな営業施策としてアライアンス企業と共同で実施した「スーパーポイントウィーク」の奏功などにより、前年実績を上回りました。なお免税売上は、消耗品・一般品ともに前年を上回り、前年比+50.8%となりました。

○店舗別売上は、大型店では免税売上が好調な大阪店・新宿店のほか、京都店・日本橋店が前年比プラス、横浜店もほぼ前年並みとなりました。地方郊外店では、堺店・柏店・岡山店・高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上は前年と比較して気温の低い日が続いたこともあり、春物衣料の動きが鈍く、紳士服（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）・婦人服が前年実績を下回ったほか、子供服、リビング用品が前年比マイナスとなりました。一方、株高による資産効果やインバウンド需要の高まりなどにより、特選衣料雑貨・宝飾品や、化粧品が好調な婦人雑貨が前年実績を上回ったほか、紳士雑貨・食料品も前年比プラスとなりました。